

令和6年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総合政策部長 平井 聡	<p>●使命 総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。</p> <p>また、持続可能な地域づくりに向けて、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>①市民目線に立った分かりやすい広報に努めるとともに、魅力のある情報や市政情報を発信し、透明で開かれた市役所を目指します。</p> <p>②定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。</p> <p>③市民活動を支援し、協働のまちづくりを推進します。</p> <p>④適正な土地の利用を確保しつつ、本市の区域における土地の均衡ある発展のための計画的な土地利用を推進します。</p>	所管課	秘書広報課、企画振興課		
		人 員	正職員	会計年度任用職員	合計
			14人	9人	23人
		一般会計	1,950,284 千円		
		特別会計	12,149 千円		
		計	1,962,433 千円		
	(うち人件費)	(135,804 千円)			

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3月末)
1	ふるさと納税(応援寄附金)制度の推進	<p>・歳入確保と市のイメージアップのため、寄附者との関係維持やお礼の品の開発・拡充に取り組みます。</p> <p>目標: 予算額の10億円以上(特設サイト分含む)</p> <p>新規返礼品: 100品以上</p> <p>・効果的な返礼品のプロモーションに取り組みます。</p>	<p>・3月末時点の寄附実績は個人版ふるさと納税が51,621件、寄附額1,311,425千円です。企業版ふるさと納税の金銭による寄附が18件、寄附額10,500千円、物納が4件(米、乾燥きくらげ、こんにゃく、ヨーグルト)</p> <p>・新規返礼品登録数158品です。</p>

	重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3月末)
2	広報等による市内外への情報発信とシティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> 市外に向けて市の魅力や取組等を広く発信します。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌を年 2 回発行することにより市のファンを獲得し、関係を継続します。 ファンクラブ会員目標数：2,700 人 	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌を 11 月、3 月に発行しました。 オンラインミーティングを 4 回開催し、市の魅力発信を行いました。2 月にも開催を予定しています。 ファンクラブ会員数：2,664 人(3/31 現在)
		<ul style="list-style-type: none"> 「広報せとうち」特集ページで重点施策を分かりやすく伝え、市政への関心を高めるよう努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月号、11 月号で重点施策の特集を掲載します。 	<ul style="list-style-type: none"> 9 月号では、令和 6 年 6 月市議会定例会で審議された補正予算などの主な事業を紹介する特集ページを組み掲載しました。 11 月号では、瀬戸内市 20 周年記念事業と市のあゆみを紹介する特集ページを作成しました。
		<ul style="list-style-type: none"> 効果的かつタイムリーな広聴・広報により市内外への正確で迅速な市政情報の提供に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> X、LINE や Youtube 等の SNS を活用し、市の情報を発信します。 発信回数：20 本以上(月間) 友達登録：17,500 人以上 	<ul style="list-style-type: none"> X、LINE 等の SNS を活用して市の情報を発信しました。 11 月の福岡の大手でブースを出展し、市民の LINE 友達登録促進活動を実施しました。 1 月には市職員の情報発信力向上のため、LINE の効果的な情報発信の研修をしました。 発信回数：28 本(4～3 月の 1 カ月の平均発信数) 友達登録：18,048 人(3/31 現在)
3	国内・国際交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 友好都市との連携による国際交流に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流フェスタに密陽市、釜山市等訪問団を招待し、交流を継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> 11 月 2 日開催の市誕生 20 周年記念式典及び 3 日開催の瀬戸内市牛窓国際交流フェスタへ密陽市、慶尚南道議員、釜山文化財団、対馬市から来賓を招待しました。
		<ul style="list-style-type: none"> 国際交流員の活動による国内・国際交流の推進に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流推進協議会や関連他市との連携により、外国人への地域の魅力情報の発信や、市内在住外国人の生活を支えるための取り組みを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 6 月にフランス出身の国際交流員と備前市の地域おこし協力隊が連携し、フランス人インフルエンサーを両市へ招き、SNS で海外へ観光地や伝統文化について情報発信しました。 8 月に着任した国際交流員が海外向け SNS(Visit Setouchi) で市内の情報発信を行っており、Instagram のフォロワー数は着任時の 223 人から 427 人に増加し、Facebook は 7,100 人から 19,188 人へ増加しました。それに加え 2 月に YouTube チャンネルを作成し、フォロワー数は 1,856 人まで増加しました。 また、10 月に交流員が撮影し Facebook へ投稿した抜刀術動画の閲覧数が 232 万回再生を超え、YouTube のショート動画は 300 万回再生を超えました。

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3月末)
4 瀬戸内市誕生20周年 及び市民の日	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年11月1日に瀬戸内市誕生20周年を迎えることを契機に、市民の皆さんがふるさと瀬戸内市の魅力を見つめなおすきっかけとなる行事等を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内市誕生 20 周年記念式典及び記念行事を開催します。 11月1日の「瀬戸内市民の日」に関連事業を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月2日に「瀬戸内市誕生 20 周年記念式典」を開催しました。弦楽四重奏の演奏とともに振り返る 20 年の歴史や、令和 6 年度瀬戸内市功労表彰・善行表彰、記念映像の放映、記念講演やトークセッションなどを行い、出席者約 400 名(来賓約 170 名を含む)と瀬戸内市誕生 20 周年を祝いました。 瀬戸内市誕生 20 周年を契機として、11月1日を「瀬戸内市民の日」と定め、関連事業(備前長船刀剣博物館、市立美術館、市営バスの入館料・運賃無料)を行いました。 <市民の利用実績> 備前長船刀剣博物館への入館料無料(11/1) 市民 241 人 瀬戸内市立美術館への入館料無料(11/1) 市民 216 人 市営バスの運賃無料(11/1~11/4) 市民 1,494 人
5 地方創生の推進	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略の検証結果を踏まえ、次期総合戦略を策定します。 地域の発展に関わる人材育成に向けて県立邑久高等学校を支援します。 地方創生による地域活性化を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、第 2 期総合戦略の効果検証を行った上で、総合戦略を改訂します。 邑久高校に人的支援や財政支援を行い、高校の魅力向上と地方創生に資する人材の育成を図ります。 移住交流促進協議会と連携し、移住交流人口の拡大を図ります。 相談会での相談件数:100 件以上 市の移住施策を通じた移住件数: 5 組 	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略改訂に向けて、40 歳以下の方を対象とした「結婚・出産・子育て調査」、移住者を対象とした「移住・定住調査」、高校生を対象とした「定住・Uターン調査」を実施し、結果を公表しました。 国の地方創生の方針が変更となったことから、現行計画の計画期間を延長し、令和7年度中に総合戦略を改訂します。 邑久高校への支援として、高校と地域をつなぐ地域おこし協力隊を引き続き配置するとともに、地域学習のためのバス代支援(9 回)、広報紙への邑久高校通信の折り込み(2 回)、総合的探究の時間や主権者教育への協力(講師派遣)、国内外留学への支援などを行いました。 移住相談会(対面 5 回:大阪 2 回、東京 2 回、岡山 1 回、オンライン:ナイター10 回)への出展を通して移住希望者等 106 件の相談に対応し、22 件の現地案内を実施しました。移住者は 10 組となっています。

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3月末)
6 市民協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体を支援することにより、協働のまちづくりを推進します。 市民活動を支援するため、各種補助金(市民活動応援/協働提案事業/学生チャレンジ)の活用を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体がふるさと団体応援寄附金を活用して、その活動を発展していけるよう支援します。 各種補助金の内容や、補助金活用団体の活動をPRし、新規の団体の市民活動への参加を支援します 新規団体の補助金応募数:3団体 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年分は3団体からふるさと団体応援寄附制度の登録があり、「瀬戸内市ふるさと納税ポータルサイト」で寄附金の募集を行いました。 7月25日に令和6年度協働提案事業の成果報告会を一般公開で開催し、事業内容や成果を広くPRしました。 令和7年度各種補助金の新規応募団体数は、市民活動応援補助金(市民活動団体用)2団体、協働提案事業補助金1団体でした。 令和7年度各種補助金について、市民活動応援補助金(市民活動団体用)を11団体、協働提案事業補助金を4団体採択しました。
7 持続可能な地域コミュニティづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域に対し、地域の要望に応じた支援を行います。 支援団体数:3団体 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会設立に向けて、6月に国府地区において「国府地区の未来を考えるワークショップ」、12月に行幸地区において意見交換会を、地域内で活動する団体の代表者を対象に開催しました。グループワーク等により活発な意見交換が行われ、地域内での繋がりを深めることができました。また、3月に長浜地区の代表者とまちづくり協議会に関する意見交換を行いました。 <p>支援団体数:3団体</p>
8 持続的な公共交通網の維持	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通計画に基づき、新たな公共交通不便地域が生じないよう公共交通網の維持に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市営バス事業において、市民のニーズや意見を反映させつつ利用環境の更なる改善に取り組み、利用者数の増加を目指します。 <p>目標:全8路線における1か月当たりの平均利用者数 R5(4~3月)実績:約10,700人/月 →R6目標:11,200人/月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3月末現在の全8路線における1か月当たりの平均利用者数は約13,400人/月で、目標を上回っています。 4月に導入したバスロケーションシステムは、利用が増加傾向にあります(累計アクセス数約49,000件)。

重点項目	内容	成果目標	進捗状況(3月末)
9	<p>計画的かつ調和のとれた土地利用の推進</p> <p>・都市計画の導入に向け、岡山県や関係機関との協議や市民参画の取組を経て、都市計画マスタープランを策定します。</p> <p>・官民連携で、過疎地域のまちなかの再生・活性化(牛窓リノベーションプロジェクト)を進めます。</p>	<p>・基礎調査分析を行いつつ、岡山県と協議しながら、都市計画区域の指定範囲を検討し、方向性を決定します。</p> <p>・令和6年度末に都市計画審議会の答申を経て都市計画マスタープランを策定します。また、マスタープランの作成と並行して、地域地区(用途地域等)の指定区域の設定等を行います。</p> <p>・官民連携により、牛窓まちなか再生未来ビジョンに基づき、その実働組織となるエリアマネジメント団体の設立に向けた準備を行うとともに、空き家等を活用しながら牛窓エリアへの居住や賑わい創出を促進します。</p> <p>・エリア内への居住及び創業件数:4件以上</p>	<p>・都市計画区域の指定範囲については、決定権者である岡山県と協議を行っていますが、国の同意も必要であり、方向性の決定時期は未定となっています。</p> <p>・都市計画マスタープラン(案)については、庁内での検討、都市計画審議会を経て3月末に取りまとめました。用途地域の指定区域の設定等に関しては、都市計画マスタープラン(案)に基づき、指定方針等の検討を引き続き行います。</p> <p>・空き家や空き店舗を活用したエリア内での創業件数は、4月開業分を含めカフェ1件、飲食店2件、コワーキングスペース1件、シェアハウス1件となっています。</p> <p>・エリアマネジメント団体の設立については、令和7年度集落支援員を配置し、設立準備など取組を加速していくこととしています。</p>
10	<p>SDGsの推進</p> <p>・持続可能な瀬戸内市の実現に向けたローカルSDGsを実現します。</p>	<p>・SDGsに関する普及啓発事業を行います。</p> <p>普及啓発イベント・研修等開催数:2回</p> <p>・邑久高校と連携し「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」を活用した出前授業等を開催することで市民と一緒にSDGsを推進します。</p> <p>出前授業等開催数:10回</p>	<p>・令和6年8月に岡山市が開催した「未来わくわくSDGsフェスタ」に岡山連携中枢都市圏として協力し、パネル展示を行いました。</p> <p>・雑誌「オセラ」(令和6年12月25日発行)に本市のSDGsに関する記事を掲載し、取組のPRを行いました。</p> <p>普及啓発イベント・研修等開催回数:2回</p> <p>・令和6年6月に開催された「環境フェスタ in せとうち」に参加し、SDGsカードゲーム出前講座を行いました。</p> <p>・市新規採用職員研修でカードゲームを用いた講義を行いました。</p> <p>・市内7か所の小学校(12クラス)と1か所の中学校(1クラス)でカードゲーム出前授業を実施しました。</p> <p>出前授業等開催回数:10回</p>